

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エスケーエレクトロニクス
 コード番号 6677 URL <http://www.sk-el.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石田 昌徳
 (氏名) 藤原 英博

TEL 075-441-2333

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	6,606	35.9	△177	—	△415	—	△314	—
24年9月期第2四半期	4,859	△41.7	△1,500	—	△1,600	—	△1,459	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 240百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 △1,431百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△2,775.97	—
24年9月期第2四半期	△12,869.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	17,803	7,998	39.3	61,642.06
24年9月期	16,516	7,757	41.3	60,227.60

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 6,988百万円 24年9月期 6,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想は未定とさせていただきます。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

当社グループの売上の大きなウエイトを占める第10世代のフォトマスクの需要については不確定要素が多く、連結業績予想が困難であります。そこで、第3四半期(4月1日より6月30日まで)の決算発表時(8月上旬)に通期の連結業績予想を公表させていただく予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	113,684 株	24年9月期	113,684 株
25年9月期2Q	312 株	24年9月期	312 株
25年9月期2Q	113,372 株	24年9月期2Q	113,372 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）継続企業の前提に関する注記	8
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国を発端とする財政問題が長期化する中、中国をはじめとした新興国経済の減速が続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

わが国経済においては、東日本大震災の復興関連需要や政権交代後の円高の是正および株価上昇等を背景に景気は緩やかな回復基調となっているものの、海外経済の下振れの影響により、景気の先行きは不透明な状況にあります。

フラットパネルディスプレイ業界におきましては、一部のスマートフォンで生産調整があったものの、韓国サムスン電子の「ギャラクシー」シリーズをはじめとするアンドロイドOSを搭載したスマートフォンやタブレット端末の需要が、前期に引き続き拡大し、中小型パネル市場は活況を維持しました。

また、テレビなどの大型パネル市場につきましては、セットメーカー各社が、春節商戦向けなどに液晶パネルの調達を増加させたことに対応し、パネルメーカーの稼働率は一時高水準となり活況となりましたが、その後は最大需要地である中国でのテレビ需要が伸び悩みました。

そのような状況の中、当社グループにおいては、第10世代用フォトマスクは、第1四半期に前期よりずれ込んだ需要の一部を受注いたしました。第2四半期から交渉中の開発案件が第3四半期以降にずれ込みました。一方、第8世代以下のフォトマスクにおきましては、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型パネルの開発需要が引き続き堅調に推移したことに加え、第2四半期に入り、円安が進んだことも要因となり、台湾、韓国のパネルメーカーからの需要が増加いたしました。

その結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高66億6百万円（前年同期比35.9%増）となりました。利益につきましては、営業損失1億77百万円（前年同期は15億円の営業損失）、経常損失4億15百万円（前年同期は16億円の経常損失）、四半期純損失3億14百万円（前年同期は14億59百万円の四半期純損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて12億86百万円増加し178億3百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具等の減価償却が進んだ一方で、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億45百万円増加し98億4百万円となりました。これは主に、既存長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の返済を進めた一方で、新たに短期借入金の借入れを実行したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億40百万円増加し79億98百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少や為替換算調整勘定、少数株主持分の増加によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上の大きなウエイトを占める第10世代のフォトマスクの需要については不確定要素が多く、連結業績予想が困難であります。そこで、第3四半期（4月1日より6月30日まで）の決算発表時（8月上旬）に通期の連結業績予想を公表させていただく予定です。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において、多額の営業損失、経常損失、当期純損失を計上したことに加え、シンジケートローン契約に付されている財務制限条項に抵触したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しておりました。当第2四半期連結累計期間においても売上規模、収益性回復の兆しはあるものの、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

当該状況を解消し、又は改善するための今後の対応策として、当社グループ策定の「中期経営改善計画」をもとに、①金融機関からの継続的な支援協力の同意の獲得、②売上規模の回復及び事業構造改革の更なる推進により収益の回復に努めてまいります。②の売上規模、収益性回復のための具体的な施策は次のとおりであります。

<売上規模、収益性回復のための具体的な施策>

1. 技術営業部の新設により顧客ニーズを速やかに実現し、競合他社との差別化を図る。
2. 多階調マスクに次ぐ新たな高付加価値マスクの開発、及び拡販を推進する。
3. 低価格材料プロジェクトを発足し、抜本的な仕様・生産工程の見直しや、低価格材料の開発による製造原価の低減を推進する。
4. 世界唯一の第10世代用フォトマスクの供給メーカーとしての優位性を最大限に活かす。

以上のことから、当社グループの継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,056,137	2,755,654
受取手形及び売掛金	2,921,065	5,262,059
商品及び製品	15,216	14,778
仕掛品	73,659	161,343
原材料及び貯蔵品	1,144,606	1,310,286
その他	309,935	210,611
貸倒引当金	△182	△194
流動資産合計	7,520,439	9,714,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,830,466	3,728,688
機械装置及び運搬具(純額)	2,837,106	2,011,488
土地	1,607,750	1,607,750
その他(純額)	103,908	126,017
有形固定資産合計	8,379,233	7,473,946
無形固定資産		
のれん	34,945	39,148
ソフトウェア	212,281	187,923
無形固定資産合計	247,227	227,072
投資その他の資産		
その他	369,951	387,545
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	369,851	387,445
固定資産合計	8,996,312	8,088,464
資産合計	16,516,752	17,803,003

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,417,717	3,664,453
短期借入金	—	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,737,500	1,312,500
未払法人税等	16,000	14,000
その他	503,145	558,578
流動負債合計	6,674,362	8,049,531
固定負債		
長期借入金	2,000,000	1,700,000
その他	84,673	55,172
固定負債合計	2,084,673	1,755,172
負債合計	8,759,035	9,804,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,335,413	4,335,413
利益剰余金	△783,267	△1,097,984
自己株式	△48,338	△48,338
株主資本合計	7,613,530	7,298,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,055	59,860
為替換算調整勘定	△828,463	△370,190
その他の包括利益累計額合計	△785,407	△310,329
少数株主持分	929,592	1,009,815
純資産合計	7,757,716	7,998,299
負債純資産合計	16,516,752	17,803,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	4,859,411	6,606,163
売上原価	5,012,210	5,915,342
売上総利益又は売上総損失(△)	△152,798	690,820
販売費及び一般管理費	1,347,907	868,380
営業損失(△)	△1,500,705	△177,560
営業外収益		
受取利息	4,159	3,833
不動産賃貸料	14,703	14,634
受取保険料	—	11,994
償却債権取立益	9,029	—
その他	8,837	13,016
営業外収益合計	36,729	43,479
営業外費用		
支払利息	30,602	24,725
為替差損	80,956	224,866
その他	25,220	32,188
営業外費用合計	136,779	281,780
経常損失(△)	△1,600,755	△415,861
特別利益		
補助金収入	100,000	100,000
投資有価証券売却益	2,999	—
特別利益合計	102,999	100,000
特別損失		
有形固定資産除却損	37	5,028
特別損失合計	37	5,028
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,497,792	△320,889
法人税、住民税及び事業税	9,622	46,272
法人税等合計	9,622	46,272
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,507,414	△367,162
少数株主損失(△)	△48,366	△52,445
四半期純損失(△)	△1,459,048	△314,717

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,507,414	△367,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,792	16,804
為替換算調整勘定	29,018	590,941
その他の包括利益合計	75,811	607,745
四半期包括利益	△1,431,603	240,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,389,769	160,359
少数株主に係る四半期包括利益	△41,834	80,222

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。